

野球プロ会議 あすドラフト

青森県関係7選手が志望届

黒田(工大) 福島(八戸西高)ら指名待つ

プロ野球の新人選手選択会議(ドラフト会議)は11日午後5時から、東京都内

で行われる。青森県関係では、計7選手がプロ志望届を提出。高校では、工大一

高の黒田将矢投手、八戸西の福島蓮投手、八学光星の横山永遠投手が指名を待



横山 永遠

つ。大学では、法大の古屋敷匠真投手(工大一高出)と小池智也外野手(八学光星高出)、青森大の長谷川稜佑投手、日体大の鳥谷部慎吾投手(弘前東高出)が提出した。

黒田はむつ市出身で、188センチの長身から最速149キロの直球とスライダー、チェンジアップを投げ込む本格派右腕。高校では2年秋からエースナンバーを背負い、今春の青森県大会準優勝、今夏の青森大会4強入りに貢献した。

福島は八戸市出身で、190センチの長身から投げ下ろす最速144キロの直球と切れのあるフォーク、スライダーを武器に、昨秋の東北大会で8強入りに貢献。同校にとって春夏通じて初の甲子園出場の前線力となった。

横山は長野県出身で、最速147キロの直球とスライダー、チェンジアップ、フォークを武器とするパワーピッチャー。打者としても勝負強く、昨秋、今春の青森県大会優勝に貢献し、今夏はベスト8だった。

速154キロの直球が主体でスプリット、スライダーなどを交える。高校時代は2年秋から主戦を務め、3年夏の青森大会は4強入り。今春の東京六大学リーグ戦では主にリリーフとして起用された。

小池は大阪府出身で、八学光星高1年時には中堅手として選抜甲子園大会に出場。3年時の夏の青森県大会は中軸としてチームをけん引した。法大では主に左翼手として活躍し、今春の六大学リーグ戦では4番打者を務めた。

長谷川は足立学園高(東京)卒で、最速155キロの直球にスライダー、カーブ、スプリットなどの変化球を交える本格派右腕。鳥谷部は弘前市出身の左腕で、弘前東高時代は140キロ超の直球を武器に活躍した。(林泰輔)